

出前講座 報告書

開催日時	令和5年10月12日(木) 14時00分～15時45分	
開催場所	伊賀市総合福祉会館	
申請団体等名称	伊賀市社会福祉法人連絡会	
テーマ	人材確保について 災害対応について(福祉避難所)	
委員会名等	教育民生常任委員会	
出席議員	西口和成(委員長)、西條エリ子(副委員長)、北山太加視、 釜井敏行、西田方計、桃井弘子、中谷一彦 (委員外) 森中秀哲、川上善幸	
	記録者	西條エリ子
【講座・意見交換等の主な内容・対応等】		
<p>伊賀市社会福祉法人連絡会は伊賀市内に拠点を置く16法人が集まり毎月例会を開催している。ホームページも作成されて「ささえあって安心を身近に」を理念に三重県内で最初に活動したのが伊賀市の連絡会である。</p> <p>1. 人材確保について</p> <p>三重県老人福祉施設協会の令和5年度調査結果によると、介護職員は会員施設の90.9%、看護職員は会員施設の83.7%が採用が厳しい状況である。外国人介護人材を雇用している施設は、平成28年度は1.4%だったが、令和5年度には53.1%と約40倍に急増している。高齢化社会の進行に伴い介護職や福祉関連の職種での人材不足が顕著である。経済的な誘因が限られていることから、若い世代の福祉職に対する関心が不足している。</p> <p>【議員から提案】</p> <p>家庭での福祉職へのイメージアップ、就職に対して若い世代への職業選択支援と、教育現場、新規就職での福祉施設でのインターンシップ、体験を充実させていく。</p> <p>2. 福祉避難所について</p> <p>福祉避難所として協定を結んだ時より時間経過があり、課題点として有事の人材確保の検討やハザードマップ内に施設があるなど協定の現実的な運用ができない。国のガイドラインの改定に合わせて市との協定の見直しを議会からも要望していただきたい。</p> <p>【議員から意見】</p> <p>市の防災訓練、地域自治協の防災訓練に協働体制を取れるよう協議していき</p>		

(様式第2号)

い。台風7号の停電で市民センターとの連携が必要であると認識している。協定の見直しも情報共有し、市の個別避難計画の策定にも配慮していく。

3. その他

地域福祉事業（移動支援事業ガイドヘルパー）を市の裁量で取り組んでいただきたい。

【議員から】

教育民生常任委員会で政策課題を共有し、当局へ要望していく。

伊賀市議会議長 様

令和5年10月16日

議会出前講座実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

（教育民生常任委員長） 西口 和成